

かめっ子だより No.147

令和7年12月4日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

人権教育月間の最後を締めくくるのは、いいところみつけ！

亀井小学校では、10月27日（月）～11月28日（金）の1ヶ月を『人権教育月間』とし、人権に関する様々な取組みを行ってきました。その取組みの一つに“いいところみつけ”があり、「元気がいい」「優しい」「面白い」など友だちのいいところを探してみました。見つけたことを文章にし、各クラスから1点ずつ選び、給食の時間に放送で全校児童に向け発表しました。11月25日（火）が低学年、27日（木）が中学年、28日（金）が高学年と、3日に分けて実施しました。

- ◇いつも優しくて、気軽に話しかけてくれるのが、うれしいです。（5年）
- ◇いつも笑顔で朝のダンスを踊っているのが、いいなと思います。（1年）
- ◇お店探検の発表の時、大きな声で言ってたから、聞こえやすかったよ。（2年）
- ◇よくお話ししてくれるから、お話ししやすいです。隣の席になれてよかったです。（4年）
- ◇いつも笑顔で明るいし、優しいし、みんなの事もちゃんと見てる。（3年）
- ◇クラスのことを積極的にしてくれていて、とても頼れる存在です。（6年）

言われた人は、とてもいい気持ちになります。友だちから見た自分のいいところを知ることで、自分の知らなかった部分を知ることができると、いいところを友だちから認められることで、自信にも繋がります。でも「友だちのいいところ」はさっと答えられるのに、「自分のいいところ」はなかなか答えられない。このような子も結構多いと思います。それは子どもたちの自己肯定感の低さが理由だと考えられます。「自分にもいいところはあるんだ」「自分のいいところに自信をもっていいんだ」という自信を、少しずつでももてるようになってほしいと願っています。なにより、人のいやなことやできないことばかりを探すより、いい所を見つける方が、何倍も気分はいいですね。

